

# Eメールニュース「みやぎの九条」 NO. 330

2020年9月15日発行／みやぎ憲法九条の会

Home Page <http://miyagi9jou.sakura.ne.jp/>

ホームページに九条の会の活動を掲載しています。企画のチラシ、報告、ニュースなど寄せてください。連絡先：info@9jou.jp

## 緊急署名(9/14現在)

宮城県内9条の会連絡会：2,850筆 他団体：3,127筆

合計 緊急署名推進センターの集約：5,977筆

石巻九条の会と憲法九条将監の会から署名が寄せられました。ハガキは若林区・名取・泉区より届いています。

\* 署名は県名よりしっかり書きましょう。「●●市」などは他県に同名の地名がある場合は除かれます。もちろん、「同上」「〃」は不可です。国会提出時に大変な苦勞となっています。よろしくお願いいたします。(「憲法共同センター」よりの連絡再)

地域の九条の会で配付希望されるところはみやぎ憲法九条の会事務局に必要な枚数をお申込みください。申し込みされたところには宅急便でお送りします。12月20日までに投函された場合は郵便料金は着払いでみやぎ憲法九条の会で負担します。

\* 安倍首相の辞任にともない、現行の署名はどうなるかということ事務局団体の憲法共同センターにお聞きしました。新内閣の政策などを見て、10月2日の会議で決める予定とのこと。10月からの臨時国会にまとめて提出するので、当面今の署名用紙でどんどん集めてほしいということでした。

コロナをのり超え、ともに生きよう! 世界の人々と。  
**守ろう! 命とくらし 戦争NO!**  
政治の役割はふたつあります。  
一つは国民を植えさせないこと。  
安全な食べ物を食べさせること。  
もう一つは、これが最も大事です。  
ぜったいに戦争をしないこと。  
宮城県みやぎ憲法九条の会(社)様  
私たちは安倍首相がめざす戦争を拒むために反対し、憲法9条を守り、生かしたいと活動しています  
宮城県内九条の会連絡会 連絡先 みやぎ憲法九条の会 TEL 022-728-8812 info@9jou.jp

本当なの? 何も変わらないって...  
安倍首相の憲法改竄案  
自衛隊を憲法9条に書き込む  
自衛隊のこれまで  
攻められた側のための  
憲法9条に書き込むと  
他国の戦争に参加して武力行使する憲法  
日本国憲法 第九条

9 8 1 - 0 9 3 3  
みやぎ憲法九条の会  
全国緊急署名集約係  
仙台市青葉区柏木1-2-15  
フオレスト仙台5階  
〒980-0001

## 9月の「19日行動」

19日行動は2015年9月19日に9条に違反する「安保法制強行採決」したことを忘れず、「安保法制廃棄」を求めて毎月行っている運動です。

- 仙台市： 9月19日（土）12:00～13:00 場所：仙台市中央通東二番丁 平和ビル前
- 石巻市： 9月19日（土）16:00～17:00 場所：石巻工業高校前・蛇田交差点
- 涌谷町： 9月19日（土）13:00～13:30 場所：涌谷公民館前交差点
- 小牛田： 9月19日（土）13:00～13:30 場所：国道108号山の神神社前交差点
- 気仙沼市：9月19日（土）16:00～17:00 場所：ホームック前

## 宮城県内九条の会連絡会の街頭宣伝は毎週火曜日

場所：仙台市中央通東二番丁 平和ビル前。

時間：12時から13時まで。

実施日：9月15、22日はお休みします。9月29日、10月6日、13日実施予定。

## 10月3日は澤地久枝さんの提唱「アベ政治を許さない！」Day！！

- ・ 午後1時キッカリに「アベ政治を許さない！」ポスターを掲げましょう。
- 名取市 ヤマザワ前道路交差点
- 涌谷町 涌谷公民館前交差点
- 宮城野区 坂下交差点

## 【これからの県内催事情報】

戦争を語り継ぐ上映会（9月）

「 き の こ 雲 の 下 で 何 が 起 き て い た の か 」

巨大なきのこ雲の下の惨状を記録した写真が世界でたった2枚だけ残っている。

投下3時間後、爆心地から2キロのところにある「御幸橋」の上で撮影されたものだ。居合わせた被爆者の証言、最新の映像技術や最新科学をもとに、50人あまりが写る写真の真実に迫った。原爆特有のやけどを負っていた皮膚や今にも亡くなろうとしている人々…。そこはまさに「生と死の境界線」だった。（2015年放送、65分）

■同時上映 「“焼き場に立つ少年”をさがして」（2020年放送、58分）

◇日時：9月15日（火） 13:00～15:00 （参加費：無料）

◇会場：泉病院友の会ホール（仙台市泉区長命ヶ丘2-1-1）

◇主催：泉病院友の会平和の委員会

◇問合せ先：泉病院友の会378-3883

◇お願い：ご参加の際にはマスクの着用をお願いします。定員10名（要事前申込）

#### みやぎ農協人九条の会シンポジウム

### 「地域での協同組合（農協）の役割・課題を考える」

県内は30年以前から消費税、輸入拡大等による農漁村、内需不振等で地域経済は困り果てています。生活者、一次産業従事者、中小零細業者の皆さんが「互いに支え合う」ことが重要です。協同組合（生協・農協・漁協・森林組合・日専連他）はその役割を担っていると思います。

日時：9月19日（土）午後1時30分

会場：フォレスト仙台ビル2階 会議室（第5・6会議室）（仙台市青葉区柏木）

報告者：冬木勝仁さん（当会世話人、東北大学農学部教授・みやぎ生協理事長）

舟山健一さん（当会世話人、JAみやぎ仙南農業協同組合組合長）

参加費：300円

定員：50名。当日は感染対策を講じます。参加者の皆さまにはマスク着用願います。

申込：参加希望の方は出来るだけ事務局にご連絡下さい。電話、メールなんでも可。

電話 022-728-8812 FAX022-276-5160 メール info@9jou.jp

事務局 齋藤清治（090-3640-8696）佐藤修司（070-6491-8206）

## 高橋純子さん講演会

### 「仕方ない帝国で生きていて楽しい？～政治の力・市民の力～」

コロナ危機の中、各国リーダーたちが、国民に向けて何をどう語るのか、どんな支援策を打ち出してくるか。強いもの勝ち、格差を拡げる政治が続けられてきた結果、弱い立場に置かれている人々に対して、政治は何を為し、為さないのか。今、私たちはこれまでになく政治のありようを考えさせられています。

日時：9月20日(日) 13:30～15:30

会場：東京エレクトロンホール(宮城県民会館 601)

講師：高橋純子さん(朝日新聞論説委員・編集委員)

参加費：500円

主催：「テロにも戦争にもNOを！」の会

連絡先：090-7936-3437 須藤 022-248-2866 春日

E-mail：kibichan-family@nifty.com

体調の悪い方はご無理のないようお願いいたします。マスクを着けてご参加ください。

## 南小泉蒲町校区9条の会5周年記念

### タタル・ヘンリ ヴァイオリン演奏会

コロナの問題はまだ収束には遠いのですが、だからこそ落ち込んではいけない、「命をまもるには“平和”が大事」そして「“音楽・芸術”も欠かせない」と気づきました。コロナでふさいでいる心をいやす音楽が聴きたいという私たちの願いに、仙台フィルのタタル・ヘンリさんは「やりましょう！」と即答してくれました。対策をしっかりとやって、参加者も事前に申し込んでもらって実施します。すてきなヴァイオリンの音色に耳と心をゆだねませんか？

日時：9月20日(日) 13:00～14:00

場所：若林区文化センター1F 展示ホール(若林区役所の南・区の図書館がある建物)

演奏：タタル・ヘンリさん

曲目：エルガー 愛の挨拶／バッハ G線上の Aria／ブラームス ハンガリー舞曲第5番等

入場：無料です。

定員：50名（申込締切 9/14（月） 定員になり次第締め切ります。）

（参加ご希望の方は、お名前や連絡先を下記にお知らせください。）

連絡先：Tel & FAX 022-231-2712（松尾）

## 鶴ヶ谷地域九条の会憲法 Cafe

### 新型コロナ感染と憲法

新型コロナ対策の論議の中で、「憲法に“緊急事態条項”を入れるべき」などの危ない改憲論が出されたりしてますが、新型コロナはみんなに平等に感染しているわけではない。社会階層、居住条件によって違ってきます。また、コロナ禍の中で職を失い毎日の食に事欠く人もでています。医療は？ 福祉は？、教育は？ 憲法に規定されている人権や社会保障などの観点から考えてみませんか？

日時：9月20日（日）13：30～15：30

場所：鶴ヶ谷市民センター第一会議室（仙台市宮城野区鶴ヶ谷2丁目）

話題提供：刈田啓史郎さん（鶴ヶ谷地域九条の会世話人）

参加費：無料です。

定員：38名

連絡先：鶴ヶ谷地域九条の会事務局 090-8780-8091（篠原）

## 宮城県民大集会

### 「女川原発の再稼働を止めよう！」

福島事故を忘れない！ 「被災原発」を再稼働させてはならない！ 非難計画には実効性がない！ 村井知事は女川原発再稼働に同意するな！

日時：9月26日（土） 13:30～14:00

14:00 からアピール行進

会場：仙台市錦町公園（NHK前）

主催：さよなら原発みやぎ県民大集会

連絡先：090-8819-9920（館脇）

\* マスクを着けてご参加ください。

### 仙台地区教職員9条の会講演会

#### 「コロナ禍で考える憲法と教育基本法」

コロナ感染拡大防止のための休校措置は、学校現場に大きな混乱を引き起こしました。今年には異常なほど短い夏休みになるなど、影響はいまだに続いています。

この混乱の中で、ようやく政府も少人数学級の必要性を考えざるを得ないと言う状況も生まれましたが、授業時間の増大、教室の過密状態、成績至上主義などの課題も浮き彫りとなっています。学校の有るべき姿を根本から考え直す良いチャンスとも言えます。

日時：9月26日（土） 13:30～15:30

会場：フォレスト仙台4階 会議室A

講師：賀屋義郎さん（民主教育を進める宮城の会事務局次長）

参加費：500円

主催：宮教組中央支部 022-277-5611

\* マスクを着けてご参加ください。

### 宮城県保険医協会女性部第7回公開市民講座

#### 「新聞記者がみた福島ー震災から10年を前にしてー」

東京電力福島第一原子力発電所事故から来年で10年。福島ではこの間、「復興五輪」の名の下に次々と避難指示が解除されるなど、実態の伴わない“復興”が住民無視で進められてきた。震災から10年を経過しようとしている今、改めて福島を見つめ直すことが必要ではないでしょうか

日時：9月26日(土) 14:00～16:00

会場：フォレスト仙台2階 第1・2会議室

講師：青木美希さん(朝日新聞ジャーナリスト)

定員：40名(要事前申込。会場・ライブ配信とも定員になり次第、申込を締め切らせていただきます)。ZOOMによるライブ配信も行います。

主催・申込先：宮城県保険医協会事務局 022-265-1667 FAX 022-265-0576

(仙台市青葉区本町2-1-29 仙台北町ホンマビル4F)

E-mail：[miyagi-hok@doc-net.or.jp](mailto:miyagi-hok@doc-net.or.jp)

## 第54回憲法連続市民講座

### ZOOM講演会「検察の正義をめぐる日本的構造と危険性」

第201回通常国会において、検察庁法改正案を含む国家公務員法等の一部改正をする法律案が提出されたことで浮上した、検察官人事への政治の恣意的な介入の危険性。現在の日本の刑事司法と検察の構造が抱える危険性を踏まえ、三権分立とはどうあるべきか、有るべき検察の姿とはなにかについて語る。

日時：10月10日(土) 14:00～16:00

会場：弁護士会館4階大会議室

講師：郷原信郎さん(弁護士・元検察官)

参加費：無料

定員：会館での視聴先着70名、ZOOMでの視聴先着500名まで

(郷原弁護士は仙台弁護士会館には来場しません。会館来場者の方はスクリーンでの視聴となります。新型コロナの感染状況によっては中止させていただく場合がありますがその際は仙台弁護士会のホームページで告知いたしますのでご確認ください。ZOOMでご視聴頂く場合のURL:<https://zoom.us/j/97526553578>

開演時刻になりましたら、上記URLからご視聴ください。仙台弁護士会ホームページ上から上記URLをクリックして頂ければ視聴できます。なお、画面が映らない、音が出ない等の接続面の不良等のお問い合わせについては対応できませんので予めご了承ください。)

主催：仙台弁護士会 共催：日本弁護士連合会

お問い合わせ先：仙台弁護士会 022-223-1001

## 【九条の会等の活動報告】

宮城県内九条の会連絡会総会学習講演

今こそ 憲法を！「安倍なき安倍政治」「安倍なき安倍改憲」をゆるさない



9月5日(土)、東京エレクトロンホール601会議室で行われた渡辺治さん(一橋大学名誉教授 憲法学、九条の会事務局)の学習講演には150名の方が参加して熱心に視聴しました。渡辺さんは安倍信三首相が体調不良により突然の退任を表明し、自民党の新総裁選が開始されたタイミングの講演となりましたので、演題も「安倍なき安倍政治」「安倍なき安倍改憲」と改題してお話しました。

小泉内閣以来4半世紀の間、自民、公明が取ってきた「新自由主義」政策は企業が世界一働きやすい環境をつくるために労働者のリストラ、非正規化賃金切り下げと大企業の負担軽減と規制緩和・市場創出を極端に進めた。

一方で、アメリカと一緒に戦争できる大国をめざして、集団的自衛権を「合憲化」し、安保法制変えてきた。憲法9条に自衛隊を書き込んで2020年まで施行すると言明して国民投票までもっていこうとしたのがこの間の安倍・自公政権であった。それを官邸主導の強権体制で進めたのが安倍政権であった。

4半世紀にわたる新自由主義は医療・社会福祉の削減による企業負担軽減を図るものだったが、徹底した公的病院の病床数削減や保健所削減で医療体制が困窮しているところに新型コロナの感染が起きた。

だから、感染初期の段階で安倍首相がどんなにPCR検査を拡大するといっても進まなかった。その意味で、新型コロナは新自由主義社会づくりの矛盾を表面化したものである。



新型コロナ禍の中で憲法改悪かという国民の声となおかつ、安倍による政治の私物化＝森友・加計・桜問題、検察官人事への介入が国民に追及されて、記者会見もできない状況に追い込まれた上での辞任であった。

こうした状況を作る上で大きな役割を果たしたのが「市民と野党の共闘による国会内外における闘い」であった。

本来ならばこうした状況に対して政策的な手直しなどが必要であるのだが、後継の自民党総裁候補がだれが総裁になろうとも安倍首相の政策を継続することを表明しているので、「安倍なき安倍政治」、「安倍なき安倍改憲」が続く。



私たち9条の会としては「安倍9条改憲NO!」の緊急署名行動を当面続けることが大切で、同時に「市民と野党の共闘による野党連合政権の政策づくり」を励ましていく必要があると強調した。